学校番号	1208

平成 31 年度　　指導と評価の年間計画

教科	科目（講座名）	単位数	指導学年	履修の条件
普・情報	社会と情報	2	1	なし

使用教科書	副読本等
新・見てわかる社会と情報	なし

準備物・費用等	必修／選択	全員履修	セット	自由選択	授業形態	講義	実技	実習
教科書・ノート		○				○		○

1．担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、「情報」というものを取り扱う場合に注意すべきことを正しく理解し、「情報」をうまく活用するための方法・手段を学習しましょう。

2．学習の到達目標

・情報化が社会に及ぼす影響を理解し、情報モラルを身に付けるとともに情報社会に積極的に参加する。
・情報機器を活用して、情報を適切に収集・処理・表現する能力を高める。

3．学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a：関心・意欲・態度	b：思考・判断・表現	c：技能	d：知識・理解
観点の趣旨	情報や情報社会に関心をもち、身のまわりの問題を解決するために、自ら進んで情報及び情報技術を活用し、社会の情報化の進展に主体的に対応しようとする。	情報や情報社会における身のまわりの問題を解決するために、情報に関する科学的な見方や考え方を活かすとともに情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断し表現している。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な技能を身に付け、目的に応じて情報及び情報技術を適切に扱っている。	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を身に付け、社会における情報及び情報技術の意義や役割を理解している。
評価方法	・授業観察 ・ノート点検 ・実習課題 ・定期考査	・授業観察 ・ノート点検 ・実習課題 ・定期考査	・授業観察 ・ノート点検 ・実習課題	・授業観察 ・ノート点検 ・実習課題 ・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４．学習の活動

月	単元（題材）	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
4月 ～ 5月 中旬	情報モラルを身につけよう 情報通信ネットワークとコミュニケーション コンピュータを使ってみよう	ネット・スマホのマナー 個人情報 SNS ネット依存 文字の入力	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	 ○	○ ○ ○ ○	ａ：情報モラルに関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 ｂ：情報社会に参加する上での注意点を考えることが出来る。 ｃ：コンピュータを正しく準備し、活用することが出来る。 ｄ：情報社会の長所・短所を理解している。	授業観察 ノート点検 実習課題 定期考査
5月 下旬 ～ 7月	情報セキュリティの確保 情報化が社会に及ぼす影響と課題 情報の表現と伝達	パスワード メール 詐欺 表の作成	○ ○ ○	○ ○ ○	 ○	○ ○ ○	ａ：情報化の影響に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 ｂ：情報社会に参加する上での注意点を考えることが出来る。 ｃ：情報の表現方法の幅を広げる技法を使うことが出来る。 ｄ：情報社会の持つ危険性を理解している。	授業観察 ノート点検 実習課題 定期考査
8月 下旬 ～ 10月 上旬	情報社会における法と個人の責任 情報の表現と伝達	著作権 地図の作成	○	○	 ○	○	ａ：身近な権利である著作権についての関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 ｂ:著作権の意味を考えることが出来る。 ｃ：情報の表現方法の幅を広げる技法を使うことが出来る。 ｄ：著作権のしくみを理解している。	授業観察 ノート点検 実習課題 定期考査
10月 中旬 ～ 12月	情報通信ネットワークのしくみ 情報を活用しよう	インターネットの基礎知識 情報の信憑性 情報の収集	○ ○ ○	 ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	ａ：インターネットに関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 ｂ：ネット上の情報の信憑性を考えることが出来る。 ｃ：インターネットを活用し、必要な情報を収集することが出来る。 ｄ：インターネットを理解し、情報の収集に注意するべきことを理解している。	授業観察 ノート点検 実習課題 定期考査
1月 ～ 2月	情報をわかりやすく伝えよう	情報の表現・伝達の工夫	○	○	○	○	ａ：情報の表現方法に関心を持ち、学習に積極的に取り組もうとしている。 ｂ：どのようにすれば情報が相手により伝わるかを考えることが出来る。 ｃ：情報の表現方法を理解し、活用することが出来る。 ｄ：色彩などといった表現方法に関わるものの特性を理解している。	授業観察 ノート点検 実習課題 定期考査